

この町は あなたが住む町 つくる町 神川町議会

かみかわ町議会だより



「貫井地区納涼祭」(陶芸教室)

(撮影者「フォーカス友の会」馬場 勲さん
馬場みつ江さん)

毎年、恒例になっている貫井地区納涼祭が、8月2日貫井集会所で行われました。納涼祭の前段として、多くのお子さまと保護者が参加し、世界でひとつの小鉢やマグカップ作りに挑みました。この事業は、地域活性化推進事業の一環として、実施されたものです。

<主な内容>

- 平成26年度神川町一般会計歳入歳出決算の認定など承認
- 平成27年度神川町一般会計補正予算(第3号)など補正予算を可決
- 神川町企業誘致条例などを可決



議会を傍聴しませんか

第7回定例会は12月8日(火) [午前9時~] 一般質問等から16日(水)を予定しています。

編集 神川町議会運営委員会
発行 埼玉県児玉郡神川町議会

〒367-0292 児玉郡神川町大字植竹909
☎0495(77)0707 <http://www.town.kamikawa.saitama.jp>

定例会のあらまし

平成27年度第6回神川町議会定例会は9月8日から16日までの9日間の会期で開かれ、町政に対する一般質問が行われたほか、町長から提案された平成26年度神川町一般会計歳入歳出決算の認定について、平成26年度神川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について等の特別会計決算、平成27年度神川町一般会計補正予算などで21件、報告4件、請願1件、陳情7件、議員提案1件、議員派遣の件、閉会中の継続調査の併せて36件の案件が審議されました。

町政に対する一般質問

一般質問は、9月8日に行われ、6名の議員が町長をはじめ町当局の考えを質問しました。概要は次のとおりです。



柴崎 愛子 議員

太陽光発電設備廃棄等に関する指導について

「設置管理者の把握や産業廃棄物の廃棄場所にならないよう山間部の道路等に監視カメラの設置を」

環境省の推計では、太陽光発電設備が耐用年数を迎える2040年

には、年間80万トンが廃棄物として捨てられ、東京スカイツリーの20棟以上の重さに相当すると新聞報道がありました。

さらに検討資料には、製品寿命は不確実性が高く、地震や台風、大雪等の災害時に故障品が短期的に大量に排出される可能性や、試験結果では有害物質の鉛、セレン、カドミウム、アンチモン、テルルなどの有害物質が確認されたとありました。これらを考えると、ここ3年間で急激に増えた町の現状を危惧しています。

町では、太陽光発電設備の設置管理者を把握し、設備の管理指導が十分できる体制が整っているのか、また、人家の少ない山間部が産業廃棄物の廃棄場所にならないよう、山間部の道路等に監視カメラ設置の考えはあるのか伺います。

答え 町長

「設置管理者の把握は行っていないませんが、問題発生の場合は、法に基づき適切な指導を行い、監視カメラの設置は検討します」

町では、平成24年7月から3年間の再生可能エネルギー固定価格買い取り優遇措置により、住宅用または事業用の太陽光発電設備の設置が急速に増加しました。これらの設備が寿命を迎える2030年代には、大量に廃棄物として排出されることが懸念されます。

現在環境省では、発電設備の将来の大量廃棄に備え、発電設備の再利用やリサイクルなど適正な処分の推進に向けた検討がされています。



太陽光発電設備（渡瀬浄化センター）

町では、発電施設の管理上に問題が発生した場合や、処分の方法については、廃棄物処理法に基づき管理や処理の指導を行っています。今後国から出されるガイドライン等を踏まえ、適正な処分がさ

れるよう関係機関と協力して指導、監視を行います。
なお、設置管理者は、把握していません。監視カメラの設置は、今後検討します。

不妊治療費助成事業について

「男性不妊治療への助成について」

新聞報道によると、我が国は、晩産化等により、新生児27人に1人が不妊治療を受けており、今や世界有数の不妊治療大国になったとありました。県では、平成27年4月1日から必要とされる男性不妊治療を行った場合、助成が受けられるようになりました。不妊治療は、精神的に大変辛い思いをし、また大変費用がかかります。町でも男性不妊治療に対して助成金を出していただきたいと思います。町でも男性不妊治療に対して助成金を出していただきたいと思います。町でも男性不妊治療に対して助成金を出していただきたいと思います。

答え 町長

「県内の動向を見守りながら検討します」

町では、平成26年7月より特定不妊治療を受けている夫婦に不妊治療費の助成を行っています。県では、平成27年度より男性の不妊治療の助成を開始し、10万円を限

度に対象となる治療費の2分の1の額を助成しています。対象となる治療は、特定不妊治療を行うために必要な精子を採取するための手術とされています。また、県内では、5市町で県の助成に上乗せして、実施しています。
助成の対象となる治療枠の拡大についての要望の件は、男性の不妊治療の助成とあわせ今後県内の動向を見守りながら検討します。



川 浦 雅 子 議員

子育て支援について

「多子世帯保育料軽減事業の拡充と公立保育所の存続を」

隣接市町では、「保育所、幼稚園」に通う第3子以降の児童保育料を全額補助する事業を行っています。なぜ、神川町は肩を並べようとしなのか、これから取り組む考えはあるのか伺います。

保育所を利用する働く保護者の負担を減らすためにも、現在地または近い場所に公立保育所を残していただきたいと思いますが、町の考えを伺います。人件費等、コスト削減のために1カ所に認定こども園をつくることは子育て支援に逆行していると思います。

答え 町長

「拡充については検討し、保育所は幼稚園と統合し、認定こども園を計画しますので、ご理解いただきたいと思います」

多子世帯保育料軽減事業の拡充は、今まで以上に町の負担額が増えますが、町の地方版総合戦略の中で、子育て支援は大きな柱の一つでありますので、実施に向け拡充内容を検討します。

朽化が著しく、保護者の方から、地震が起きたら心配との声も聞かれます。また、町ではゼロ歳から14歳までの年少人口が2040年には996人と、約半減するとの推計が出ており、丹荘、青柳の両保育所と神川幼稚園を統合し、幼

新しい地域支援事業について

「包括的支援事業の認知症施策の推進
及び介護予防事業について」

保連携型の認定こども園の設置を計画します。入園を希望する子供たち全てがひとしく保育を受けられ、保護者の方が預けてよかったと感じていただける認定こども園を目指します。

誰もが認知症になる可能性があることへの理解と予防と、人権を尊重した地域支援の大切さ等、様々な理解を深めるための施策をどのように進めてゆくのか伺います。

介護制度改革では、要支援者の予防給付を市町村の地域支援事業に移行させますが、町の裁量に委ねられる内容も多くあります。国の方針の「多様なサービス」に置きかえず「現行サービス」の継続をしていただきたいと思いますが、町長の考えを伺います。

答え 町長

「色々な方法により認知症に対する周知・啓発を行い、介護予防事業は地域に有効な施策を実施します」

町では、介護認定者520名中、300名以上の方が、認知症を抱えています。このような状況の中、町内小中学校での認知症サポーターキッズ養成講座や、全町民を対象にしたハートフルデ이의講演及び各字サロンの開催等を



いきいきサロン（関口）

通し、認知症施策の理解や実践が各世代へ深まるよう努めています。今後も、住民、行政が個々の役割

を明確にしながら、対応します。介護予防事業は新たな制度への

移行を好機ととらえ、地域に有効な施策を講じます。

丹荘駅周辺の開発について

「整備の進め方は住民の声に耳を傾けながら」

7月にJR八高線丹荘駅外トイレを解体し、今後、駅舎、周辺土地利用の活用について、JR側との協議があると聞いています。雨の日は、ホームに屋根がなく、駅舎は込み合い、朝夕の通学、通勤時間帯は、大勢の利用者と送迎の車で錯綜します。発着本数は少ないながらも神川町の玄関として存在している丹荘駅と周辺の整備について、住民から意見を聞いたり、また、わかりやすい説明をしながら、進めていただきたいと思いますが、町長に伺います。

答え 町長

「開発の情報は住民に伝えるとともに、利便性向上に努め協議します」

協議で得られた情報は、住民に伝えていきたいと考えています。

JR東日本の今後の事業予定としては、老朽化した駅舎のコンパクト化等も検討していきたい旨のお話がありました。町としましては、今後の計画等を注視し、積極的に調整協議を図りながら、地域住民の利便性向上に努めます。



丹荘駅



丹荘駅ホーム



堀川 光宣 議員

神川町の水道について

「石綿管を通る水道水の安全性や管布設替えについて」

町の水道管の一部は石綿管であり、その石綿管はアスベストが含まれていると言われます。町民の皆様が毎日口にする、生活に一番必要な水がアスベスト管の中を通っており、その水を毎日使って安心なのか、また、一日も早く石綿管をなくすべきと考えますが、伺います。

答え 町長

「安全性は問題ありません。石綿管更新は順次進めます」

飲用による健康への影響は、平成17年の厚生労働省通知によると、健康に影響が出るアスベスト存在量ではなく、また、世界保健機関が策定した飲料水質ガイドラインにおいても、安全性は問題ないという見解です。

石綿管布設替えについては、平成12年から平成22年までは国庫補



水道管布設替工事

助で実施し、その後は町単独事業で行っています。平成11年度末で石綿管延長が約32キロでしたが、

平成26年度末には約17キロとなり、——新里地内の460メートルを工事48%が整備済みです。今年度は、——予定です。



清水 敏信 議員

緊急情報の伝達方法について

「防災情報メールの活用及び携帯電話購入補助制度について」

町の緊急情報は、防災行政無線により実施していますが、重要な情報を聞き逃さず確実に受け取れる防災情報メールをもっと活用し、登録者の拡大をはかるべきと考えます。また、携帯電話のメール機能も合わせコミュニケーション情報を発信できたら、現在、町長が推進しているコミュニティFMラジオの代わりになると思います。さらに情報メールの利用拡大のため、役場の窓口等で登録推進すべきと考えますが伺います。

経費がかからず、町民の殆どの人が所有している携帯やスマホの活用を図るため、購入補助制度の導入について伺います。

答え 町長

「登録を推進し、地域に根ざした情報発信を目指します」

防災情報メール配信は、防災行

政無線による火災情報や避難情報などの重要な放送内容を補い、また、町外にいる町民の皆さんへ情報提供をしています。平成19年度から運用を開始し、現在800人の皆さんが登録利用しています。引き続き多くの皆さんに利用していただくために、登録利用の推進を図ります。防災情報以外の行政

観光、コミュニティ情報につきま
しては、ラインを利用して随時情
報配信をしています。携帯電話と
コミュニティFMラジオとの比較
は、それぞれの利点を研究し、地
域に根差したよりよい情報発信を
目指します。

携帯電話購入の補助制度につい
ては、既に携帯電話等をお持ちの
皆さんとの不公平感の是正など検
討が必要です。



防災情報メール登録用
QRコード



廣川 学 議員

町内の小中学校の学力向上について

「子どもたちの未来のため充実した取り組みを」

町内の小中学校の学力向上について、「オール神川」という取り組
みの目的や趣旨について伺います。神川町のどの小学校に通っても
同じ経験、同じ学力を付ける機会を得られることが目的ではないのか
伺います。

中学校では中1ギャップ対策なのか、1学期は宿題がほとんど出て
いなかったようですが、1年生にあまり宿題が出なかったのは、学力
向上という観点からは、チャンスロスだったのではないかと思います。
昨年も課題、宿題について一般質問していますが、それをきっかけに
何か変わったことはあるのか伺います。

児童生徒の未来について、学力によって負の連鎖を断ち切るのを促
す考えはあるのか、子どもたちのために色々取り組みむことが、子ども
たちの未来に、引いては町の未来に関わると思いますが、町の見解を
伺います。

答え 教育長

「質の高い教育の推進に
一層努力します」

オール神川の取り組みは、子供
たちの自立や生きる力を伸ばすた
めに、幼稚園、各小中学校が連携
し、さまざまな取り組みを行って
います。1つは、教職員が連携し、
各校の取り組みや成果の共有、情
報交換、研修、学校参観などを
行い、資質向上や学校組織の活性化
を図っています。2つ目は、幼児
児童、生徒間の交流で、入学体験
や中学生の職場体験などを行って
います。

夏休みを含む宿題、課題で、今
までと変わったところは、中学校
において、夏休みの補習を見直し、
各学年の実態に合わせ時期や回数
期間を設定し、保護者へ通知する
など、生徒の学ぶ機会を増やしま
した。

次に、児童生徒の未来について
は、土曜授業で行った、保護者参
加型の講演会や地域との交流、国

際理解教室や体験活動及び小学校
4年生を対象にした、2分の1成
人式などにより子供たちが将来に
目標を持ち、未来を切り開けるよ
う、今後も事業を継続しながら進
めます。



土曜授業（神泉小・林間学校）





赤羽 奈保子 議員

予防ワクチン接種について

「高齢者肺炎球菌ワクチンの接種状況や啓発方法及びロタウイルスワクチン接種の助成について」

昨年10月から定期接種が実施されている高齢者肺炎球菌ワクチンの接種ですが、神川町の接種率及び定期接種のお知らせや申し込みの方法など、どのような啓発を行っているのか伺います。

また、ロタウイルスワクチンの助成についてですが、ロタウイルスは、5歳未満の乳幼児におけるウイルス性胃腸炎の主な原因微生物であり、5歳までにほぼ全ての小児が感染し、2人に1人は発症すると言われています。現在はロタウイルス胃腸炎の治療法はないため、ワクチン接種による予防が唯一の感染を防ぐ方法です。町ではロタウイルス予防接種への助成を行う考えがあるのか伺います。

答え 町長

「肺炎球菌ワクチンは接種率向上のためさらに啓発を進め、ロタウイルスワクチン接種の助成は国の動向を見ながら、管内市町と連携を図ります」

高齢者肺炎球菌ワクチンの接種の現状は、平成26年度現在、65歳

—— 以上の方の36%の方が接種を受けています。周知、啓発については、

今年4月に、65歳を迎える方に、高齢者肺炎球菌ワクチンの通知と一緒に予防接種を郵送しました。また、広報に掲載するとともに、健康教育や健康相談、がん検診などの機会をとらえ周知を図ります。ロタウイルスワクチンは任意接種

子育て支援について

「子育て応援モバイルサイトの導入について」

「子ども子育て支援法」の制定に伴い、町でも子育て支援の一層の充実が課題の一つです。核家族化により、相談できる人も少なく、不安や悩みを抱えながら頑張っている方も少なくない現状です。そこで、モバイルサイトを利用し、産前産後、就学前のお子さんを持つ方へ、さまざまな情報をメールで配信する「すくすくメール」や予防接種のスケジュールを配信してくれるサイト等での子育て応援の推進を図る考えがあるのか伺います。

答え 町長

「他の市町村の動向や効果を検証します」

現在、町では保健センターにおいて、妊娠期から乳幼児を子育て中である保護者の方へ、お子さんの年齢に合った育児相談をはじめ予防接種の内容や回数と、そのお子さんに合った指導、助言等を



乳幼児健診のようす

種であり、国の予防接種部会では、26年度以降も技術的課題等の整理、検討をすると言われています。予防接種に関しては、管内市町及び医師会との調整が必要で、今後、国の動向を見ながら、管内市町と連携を図りながら進めます。



※一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することが出来ます。また、町ホームページでも閲覧出来ます。

行っています。そのかいもあり、3カ月健診をはじめ各種健診において約99%と高い受診率を維持しています。

子育て応援モバイルサイトの有用性は感じておりますが、子育て応援メールでは一律的かつ一般的な内容となってしまうことから、お子さんの成長との間に差が出て、保護者の方に不安を与えてしまう可能性があります。導入は、県や他の市町村の動向、さらにその効果について引き続き検証します。

議案審議の結果

9月定例会は、平成26年度一般会計や特別会計決算、平成27年度の一般会計及び特別会計の補正予算、条例の改正などが審議され、それぞれ原案どおり可決されました。

条例関係

◎神川町個人情報保護条例の一部を改正する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成25年法律第27号）の公布に伴い、所要の改正を行うもの。

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎神川町手数料条例の一部を改正する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成25年法律第27号）及び行政手続における特定の個人を識別するための番号利用等に関する法律施行令（平成26年政令第155号）の規定による通知カー

ド及び個人番号カード（電子証明書を含む。）の再交付手数料相当経費については、やむを得ないと認められる場合を除き、国庫補助の対象とならないため、再交付手数料を徴収する必要があるため、所要の改正を行うもの。

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎神川町企業誘致条例

町内に誘致する企業への奨励策を拡大し、本町における産業の振興を促進するため制定するもの。

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

予算関係

◎平成27年度神川町一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出それぞれ1億573万1千円を追加し、総額を59億5,584万6千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

地方交付税

1億6,220万1千円

国庫支出金 161万5千円

県支出金 1,034万円

繰入金

▲1億5,102万5千円

町債 8,260万円

○歳出に追加された主な項目

〔議会費〕 128万6千円
〔総務費〕 3,751万4千円
〔民生費〕 934万2千円
〔衛生費〕 ▲1,174万5千円
〔農林水産業費〕

▲155万8千円

〔商工費〕 ▲311万円

〔土木費〕 7,349万2千円

〔消防費〕 108万円

〔教育費〕 200万2千円

〔審議結果〕 全員賛成 原案可決

◎平成27年度神川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

事業勘定の歳入歳出それぞれ、1,880万3千円を追加し、総額を19億6,680万3千円とし、施設勘定の歳入歳出それぞれ、323万8千円を減額し、総額を1億2,530万9千円とするもの。

〔事業勘定〕

○歳入に追加された主な項目

国庫支出金 4万9千円

県支出金 4万9千円

繰入金 45万1千円

繰越金 1,825万4千円

○歳出に追加された主な項目

総務費 45万1千円

保健事業費 14万9千円

諸支出金 1,820万3千円

〔施設勘定〕

○歳入に追加された項目 繰入金 ▲323万8千円 ○歳出に追加された項目 総務費 ▲323万8千円 〈審議結果〉全員賛成 原案可決 ◎平成27年度神川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ、12万4千円を追加し、総額を1億1,159万6千円とするもの。 ○歳入に追加された主な項目 繰入金 12万4千円 ○歳出に追加された主な項目 総務費 12万4千円 〈審議結果〉全員賛成 原案可決 ◎平成27年度神川町介護保険特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ、2,497万6千円を追加し、総額を9億8,099万2千円とするもの。 ○歳入に追加された主な項目 国庫支出金 ▲3万9千円 支払基金交付金 84万4千円 県支出金 ▲1万9千円 繰入金 ▲90万7千円 繰越金 2,509万7千円 ○歳出に追加された主な項目 総務費 ▲88万8千円 地域支援事業費 53万8千円 基金積立金 862万6千円	諸支出金 1,670万円 〈審議結果〉全員賛成 原案可決 ◎平成27年度神川町観光事業特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ、43万円を追加し、総額を4,622万2千円とするもの。 ○歳入に追加された主な項目 繰入金 ▲77万7千円 繰越金 120万7千円 ○歳出に追加された主な項目 事業費 43万円 〈審議結果〉全員賛成 原案可決 ◎平成27年度神川町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ、112万5千円を減額し、総額を1億7,088万7千円とするもの。 ○歳入に追加された主な項目 繰入金 ▲1,270万8千円 繰越金 1,158万3千円 ○歳出に追加された主な項目 総務費 ▲112万5千円 事業費 0円(財源内訳変更) 〈審議結果〉全員賛成 原案可決 ◎平成27年度神川町水道事業会計補正予算(第1号) 収益的支出(予算第3条)で109万8千円を追加し、予算累計額
--	--

契約関係

を2億9,813万3千円とするもの。

○支出で増額された項目

営業費用 2億7,181万円

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎工事請負契約の変更について

金比羅橋長寿命化修繕工事の当初請負金額9,720万円を1億809万6千120円とするもの。

◎工事請負契約の締結について

契約の目的 道路改築工事(町道1-3号線)

契約方法 一般競争入札

契約金額 4,989万6千円

契約の相手方

住所地 本庄市日の出

1-5-7

名称 真下建設(株)

代表者 代表取締役

真下 敏明

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

決算関係

◎平成26年度神川町一般会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額69億9,402万5千円、歳出総額63億8,020万1千円の決算を認定するもの。詳しくは「広報かみかわ10月号」をご覧ください。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成26年度神川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

事業勘定は、歳入総額18億3,471万3千円、歳出総額16億9,299万1千円、施設勘定では、歳入総額1億2,798万1千円、歳出総額1億1,616万4千円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成26年度神川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額1億783万6千円、歳出総額1億739万1千円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成26年度神川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額9億5,757万円、歳出総額9億3,247万3千円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成26年度神川町住宅資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額125万円、歳出総額71万円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成26年度神川町町営バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額1,320万1千円、歳出総額1,183万9千円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成26年度神川町観光事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額6,580万2千円、歳出総額6,459万2千円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成26年度神川町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入総額2億1,905万9千円、歳出総額2億577万8千円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成26年度神川町水道事業会計決算の認定について

事業収益が3億2,259万5千円、事業費用が2億9,315万8千円、資本的収入が、83万1千円、資本的支出が7,912万8千円の決算を認定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

報告

◎専決処分の承認を求めることについて（平成27年度神川町一般会計補正予算（第2号））

歳入歳出それぞれ、687万円を追加し、総額を58億5,011万5千円とするもの。

○歳入に追加された主な項目

繰入金 687万円

○歳出に追加された主な項目

衛生費 157万7千円

教育費 529万3千円

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成26年度神川町健全化判断比率について

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

◎平成26年度神川町資金不足比率について

〈審議結果〉全員賛成 原案承認

議員提案

◎神川町議会会議規則の一部を改正する規則

議会における欠席の届け出の取り扱いに関して、社会情勢などを勘案し、出産の場合の欠席の届け出について新たに規定するもの。

〈審議結果〉全員賛成 原案可決

請願

◎総務経済常任委員会

件名 安全保障関連法案の廃案を求める意見書の提出を求める請願

要旨 国の集団的自衛権行使を盛り込んだ憲法違反の安全保障関連法案について廃案にするよう強く求める

請願者 本庄・児玉郡地域労働組合連合会

新島 善弘

紹介議員 川浦雅子議員

〈審議結果〉不採択

陳情

◎総務経済常任委員会

件名 肥土地内農免道路の路肩補強とガードレール・側溝蓋の設置について

要旨 安全な農作業環境確保のため農免道路の路肩補強とガードレール設置、側溝蓋の設置をお願い

陳情者 肥土区長 塩田 繁蔵

〈審議結果〉採択

件名 元阿保地内町道2269号線道路整備等について

要旨 町道と県道を結ぶ道路で未舗装道路の舗装整備をお願い

陳情者 元阿保区長 五十嵐 道太郎

〈審議結果〉採択

件名 元阿保地内町道1114号線、1115号線の道路整備等について

要旨 集落内の生活道路で未舗装の道路整備とU字

陳情者 元阿保区長 五十嵐 道太郎 〔審議結果〕採 択	件 名 元阿保地内町道379 2号線の道路整備等につ いて	要 旨 町道と国道を結ぶ生活道 路で未舗装の道路整備と U字溝設置のお願い	陳情者 元阿保区長 五十嵐 道太郎 〔審議結果〕採 択	件 名 四軒在家地内町道14 53号線道路改良工事 について	要 旨 町道の道路舗装・側溝 整備のお願い	陳情者 四軒在家区長 小門 光義 〔審議結果〕採 択	件 名 四軒在家地内町道14 55号線道路改良につ いて	要 旨 町道の道路舗装・側溝 整備のお願い	陳情者 四軒在家区長 小門 光義 〔審議結果〕採 択
--------------------------------------	--	--	--------------------------------------	---	-----------------------------	-------------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------	-------------------------------------

件 名 池田地内町道6277
号線の改修について
要 旨 側溝の設置工事のお願い
陳情者 池田区長 関口 純一
〔審議結果〕採 択



現地調査

◎議員派遣の件

地方自治法第100条第13号及
び神川町議会議規則第122条
の規定により、議員を派遣する。
〔審議結果〕全員賛成 原案可決

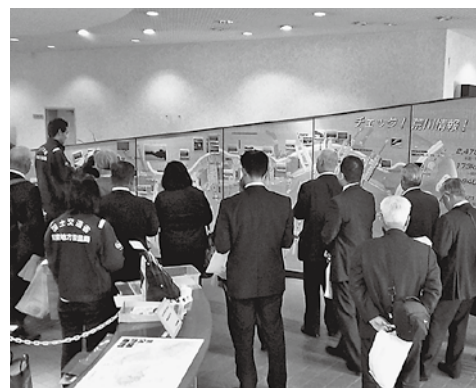


旧議員倶楽部視察研修

神川町旧議員倶楽部（加藤雅頌
会長）では、10月28日（水）現職
議員にもご参加をいただき、21名
が東京都北区にある国土交通省の
施設「荒川知水資料館」を見学し、
その後「あらかわ号」に乗船し荒
川沿いに建設された高規格堤防の
現状等を視察しました。研修では、
江戸時代から明治時代にかけて、度
重なる洪水被害により工業地帯や
市街地が大打撃をうけ、都市計画
に影響を及ぼしてきた様子が画像
をまじえて説明がありました。
また、「荒川放水路」ができるま
での歴史やもし放水路がなかった
場合、平成19年9月の台風9号で



「あらかわ号」



荒川知水資料館

被害額を想定すると、被害額約14
兆円となり、「東日本大震災」にも
匹敵するとのお話がありました。

常総市に水害義援金を
送りました

台風18号に伴う大雨により、平
成27年9月9日から11日にかけて、
関東・東北地方など広い範囲で人
的・物的被害が発生しました。と
くに、茨城県常総市は鬼怒川の決
壊により、甚大な被害を受けまし
た。

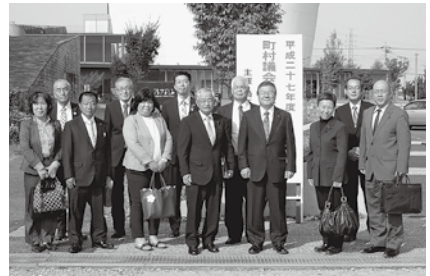
町議会は15日に臨時の全員協議
会を開き、1日も早い復興を願い
8万円を常総市に送ることを決定
し、送金しました。

県下の町村議員研修会 開かれる

10月20日(火)、吉見町文化会館「フレサよしみ」に県内の町村議会議員約300人が集まり、議員研修会が開かれました。研修会では、「いのちをはぐくむ農と食」と題して、東京農業大学名誉教授で農学博士の小泉武夫氏からご講演がありました。

先生は17年前から「食と文化」を研究され、現在の日本の大きな問題点として、「高齢化による農業の弱体化」、「食の乱れ」が上げられるとし、農業をもっと魅力あるものにし、また、和食文化の推進が大切であると力説されました。特に、「食の乱れ」では、和食を食べる人が49%に減ったため「がん」、「高血圧」、「心筋梗塞」など生活習慣病が増えている現状と、それを防ぐためには、和食の主材7つ(根菜・葉菜・青果・山菜・大豆・海藻・穀物)を摂ることが大事であるとのことのお話がありました。

また、近年、腸の研究が進み、色々な病気に対し約8割の免疫を作っているのは腸で、その中でも「腸内細菌」の役割が大きいことがわかりました。そして、その腸内細菌を元気にする食べ物として、「豆腐」、「納豆」、「野菜」などが効果的であるとのことのお話がありました。「病気の原因は食生活が大きく影響しており、食べ物はどんなお医者さんや良薬よりすばらしい」という先生のお言葉が印象的でした。



町村議会議員研修会

議会日誌

7月



1日 全員協議会

3日 郡議長会前期研修

8日 コミュニティ協議会総会

9日 10日 県議長会視察(静岡県)

15日 群馬県明和町視察

16日 八高線電車化促進期成同盟会

17日 夏の交通事故防止キャンペーン

22日 旧議員倶楽部総会

24日 丹荘保育所夏祭り

25日 元阿保、植竹、ルピナス神川

28日 納涼祭等

30日 議会運営委員会

31日 青柳保育所夏祭り

第5回臨時会

3日 中学生議会

8月



9月



5日 6日 広域議会視察(新潟県)

11日 議会運営委員会

14日 神泉納涼祭

17日 梨連合会共進会

20日 国保運営協議会

22日 事故なしキャンペーン

25日 八日市納涼祭

26日 議会運営委員会

郡議長会役員会

1日 全員協議会

8日 財政研修会

9日 第6回定例議会(一般質問)

10日 第6回定例議会(決算説明)

11日 第6回定例議会(決算説明)

12日 総務経済常任委員会

15日 第6回定例議会(決算質疑、採決)

16日 第6回定例議会(条例、補正

予算等質疑採決)

19日 神川中学校体育祭

20日 秋の交通安全運動出発式

24日 総合計画審議会

26日 運動会(丹荘・青柳・渡瀬・

神泉各小学校)

29日 広域圏議会

横浜三溪園観月会